

# 月刊島民

中之島

Vol.57 2013. 4/1

●iPadサービス(無料)



ナカノシマ大学

「すごいぞ!  
鉄道王国・大阪」

黒田一樹

申し込み受付中!

橋を渡る人の「街事情」マガジン

マキメと学ぶ  
近代建築





マキメと  
学ぶ

エノコジマ・クリエイティブ・カフェ  
万城目学×高岡伸一トークショーレポート

# 「万城目学と語る 大阪近代建築の魅力」



3月2日、江之子島文化芸術創造センター／enocolにおいて、作家の万城目学さんと、建築家の高岡伸一さんによるトークショーが行われた。万城目さんの新刊『ぼくらの近代建築デラックス!』にちなんだもので、中之島周辺の近代建築も多く登場。この対談レポートを通して、近代建築の魅力を、あらためて味わってみることにしよう。

取材・文／大迫 力(本誌) 協力／大阪府立江之子島文化芸術創造センター

高岡 今日私は私が進行役となりますが、まずはなぜこの企画が実現できたのかお話ししたいと思います。

実は万城目さんが書かれた『プリンセス・トヨトミ』の文庫版のあとがきで、私を含め3人で書いた『大阪モダン建築』に触れてくださったというんです。それを読んで、近代建築に興味があるんだなと思っていると、昨年今度は『近代建築デラックス』という万城目さん自らが近代建築を巡る、まるで私の仕事をするかのような本を出されて(笑)。それを読んでみることにした。『大阪モダン建築』のことに触れていただいている。しかも「名著」とまで言ってくださって。

万城目 はい、絶賛です。

高岡 そこで、そんなに褒めてくださるならダメ元でお願いしたら、「いいですよ」という返事をいただけたわけです。

## 『プリンセス・トヨトミ』と近代建築のつながり。

高岡 最初にかがいたのは、こういう古い建築にいつ頃から感心を持てることになったんでしょうか？

万城目 『プリンセス・トヨトミ』を書いている時に、ストーリー上のアイデアとして近代建築を使ったら面白いんじゃないかなと思ったのがきっかけです。だから、あまり純粋なものではないデザインを非常に好んで使いました。オペラ・ドメーヌ高麗橋は、正面から見ると丸い玄関部分に目が行きがちですが、三休橋筋側から見ると、「長濱ビル」と雰囲気がよく似ています。構想を立てるにあたっては、実際に建物をご覧に行かれたんですか？

万城目 行きましたね。たしかこのビルを見た時は、すぐにはピンと来なかったんです。ただ後から写真を見直してみると、ちよつとくたびれた感じが良くて。中央公会堂と同じ辰野建築ですが、こちの方が空堀商店街にはぴったりかなと思ったんです。

高岡 確かに中央公会堂みたいな派手な建築が空堀にあったらおかしいですよね(笑)。

万城目 ええ、すぐにバレますよね(笑)。高岡 そしてもう一つの特徴に、屋根の面白さがあります。出窓がたくさん付いていたりとか、中央公会堂の場合、はたきさんのドーム屋根が付いていた、そのあたりの楽しさも辰野建築の魅力です。

辰野金吾について教科書的な説明をすると、日本人建築家の第1号だと言われています。明治維新直後、日本人には洋館などは設計でできませんから、政府は工部大学校(今の東大工学部)という機関を設け、海外から先生を呼んで教えるを乞います。辰野はそこで学び、そのまま東大の教授になって後進

なく(苦笑)、ストーリーのために勉強しなくてはいけないというところから入りましたね。

高岡 それまではそんなに関心を持っていたわけではなかったのですか？

万城目 はい。全然(笑)。

高岡 全然、ですか(笑)。ただ、そこから近代建築の良さに気づくには何かきっかけが必要ですね。

万城目 そうですね。興味を持つまでの、中2階的な位置にあるのが、建築史家の藤森照信さんによる6年前の「藤森建築と路上観察」という展覧会です。これが非常に面白くて、藤森さんの本を3冊くらい買って帰ったんです。それを『プリンセス・トヨトミ』を書きながら読んでいたんですよ。建築家の名前とかもまったく知らなかったんですけど、一人だけやたらと名前の出てくる建築家が出て、それが辰野金吾だったんです。そこから徐々に興味を持つようになりました。

高岡 『プリンセス・トヨトミ』に長濱ビルというビルが出てきます。これは万城目さんが創った架空のビルで、空堀商店街のそばに建っているという想定になっています。この長濱ビルのモデルになったのが、高麗橋通沿いに建つオペラ・ドメーヌ高麗橋です。明治45年(1912)に建てられたレンガ造の建物で、これを設計したのが辰野金吾なんです。ということは、万城

の指導に当たります。東大を辞めてからは、東京と大阪に自分の右腕と一緒に事務所を開いて、民間の近代建築もたくさん建てました。その中で出てくるのが「辰野式」と呼ばれるスタイルです。

## わかりやすい、辰野式の赤白デザイン。

高岡 その辰野の代表作と言えば東京駅です。最近、辰野が設計した通りに復元されました。やはり東大教授であり日本人建築家第1号ですから、東京・日本橋にある日本銀行本店など国の中枢をなすような建築を多く手がけています。

大阪では中之島の日本銀行大阪支店を手がけています。これも屋根のドームが特徴的です。手前の部分にも小さなドームが両脇に付いていたりして、このあたりは辰野式につながる場所があるかもしれません。

そして大阪市中央公会堂です。大正7年(1918)にできていますが、正確にお話をしておくと、もともとは辰野金吾の設計ではありません。原設計は岡田信一郎という当時29歳の若い建築家でした。今言うところの建築コンペで、名だたる建築が出している中で、若い岡田が一等を獲得のですが、その時の審査員に辰野金吾がいました。選んだ後に、辰野は自分の好みに合



たつの・きんご(1854～1919) 工部大学に学び、帝国大学工科大学学長、建築学会会長など歴任した建築界の超重鎮。(写真は『建築雑誌』1919年12月号・Wikimediaより)

## 日本銀行大阪支店

竣工●明治36年(1903) 設計●辰野金吾、葛西万司、長野宇平治 地上2階

東京の日銀本店を手がけていた辰野は、ベルギーの中央銀行をモデルにしつつ、細部はイギリスのネオクラシズムを取り入れるデザインをこの建築にも踏襲。威厳あるたたずまいは、大阪での飛躍のきっかけになった。



目さんは辰野金吾という名前に惹かれて、そこからこの建物に辿り着いたという事なんですか？

万城目 まさにその通りです。「プリンセス・トヨトミ」という小説は、大阪の地下に何か秘密の建物があるというアイデアから始まりました。最初はトンネルを通り抜けると小さな体育館に辿り着く、くらいの話でも良いのかなと思っていましたが、藤森さんの本を読んでいると、大阪市中央公会堂も東京駅も辰野金吾の設計だし、もしかしたら国会議事堂も辰野が手がける可能性があったと知って、パッとアイデアが膨らんだんです。

大阪城の地下に、国会議事堂の元になる、辰野金吾の設計した建物が埋まっていたら…。一気に物語に奥行きが出る。だったら秘密のトンネルの入口にも辰野建築がないと様にならない。じゃあどんな建物にすれば良いかと考えると、やっぱりトレッドマークの赤レンガに白ラインにビルにしようということになったんです。

## 日本建築界のドンだった辰野金吾という人物。

高岡 なるほど。辰野建築の特徴として、万城目さんが今おっしゃった、「辰野式」というデザインの様式があります。赤いレンガの外壁に、白い石(花崗岩)を使った帯を回していく。こう

## 大阪市中央公会堂

竣工●大正7年(1918) 原設計●岡田信一郎 実施設計●辰野片岡建築事務所 地上3階地下1階

相場師・岩本栄之助の寄付で建設。1970年代に再開発話が持ち上がった時は、建築関係者や市民が一致団結して保存運動を展開。昭和63年(1988)、永久保存が決まった際にも多額の寄付が集まるなど、民都・大阪のシンボルの存在。



右が『プリンセス・トヨトミ』第四章の扉の挿し絵。「長濱ビルディング」の外観は、オペラドメーヌ高麗橋がモデル。万城目さんがメモを渡して描いてもらったそう。



## オペラ・ドメーヌ高麗橋

竣工●明治45年(1912) 設計●辰野片岡建築事務所 旧:大阪教育生命保険 地上2階

赤レンガに白ストライプの典型的な「辰野式」。出窓が連続するなど屋根にアクセントがあるのも辰野建築ならではの。保険会社の社屋として建てられた当初は、角にとんがり屋根の塔があった。現在はブライダルパーティーの会場に。



橋爪紳也監修、高岡伸一・三木学編著。オールカラーの美しい写真、丁寧な解説、行き届いたデータで大阪近代建築探訪のバイブル。青玄舎刊・1,680円





中央公会堂には800人を収容できるこの大集会室のほか、多くの集会室や会議室がある。どのスペースでも、市民独自の企画が連日行われている。

わせてかなりデザインを変えています。最終的には自分の事務所で実施設計をやっていますから、実質的には辰野金吾の事務所が設計したと言っても過言ではないわけです。中央公会堂のことも、万城目さんは本の中で好きな建築として挙げていますね。

**万城目** 堂々のベスト1に推挙です。

もともと『プリンス・トヨトミ』で辰野金吾の建築を取り入れようとしたのも、中之島の周辺を自転車でぐるぐる1日かけて15件くらい回って、「やっぱり辰野式は違うな」と思ったからなんです。文章にする時も「赤に白ライイン」って書けばわかりやすいし、「東京駅みたい」と書けばイメージしやすい。小説には写真を入れられないので、そういう文章上の必要から中央公会堂がピックアップされました。

**高岡** 小説らしい選び方ですね。

**万城目** そうなんです。ストーリーに寄りたいやらしい近づき方で（笑）、あんまり純粹な興味ではないんですよね。実際に『大大阪モダン建築』を見ながら回った時は平日だったので、会社員のひとかがいっぱいいたんです。そこになぜか僕一人だけ30歳超えたヤツがママチャリに乗って、オフィス街の角々で本に付いているマップを広げてペンで消し込んだりして……。恥ずかしかったんですけど（笑）。



トロビルヂング、青山ビル、新井ビル、伏見ビル、芝川ビル、生駒ビルヂングの6種類）。建築や名所がまとまったエリア地図は珍しくないが、単独のビルについて詳しく紹介するものは貴重。マップ、リーフレット共に、上記の6つのビルで配布中（※数に限りあり）。

## 『近代建築ミュージアム』の街、船場を歩くマップ。

高岡伸一さんがアドバイザーを務める「船場近代建築ネットワーク」では、船場に残る近代建築の歴史や特徴をコンパクトにまとめた地図を発行。建築散歩にぴったりなエリアマップのほか、一つのビルを写真やコラムでじっくり紹介するリーフレットもある（北浜レ



925）には大阪市が市域を拡張し、人口で東京市（当時）を抜いて日本一になりました。世界でも第6位の大都市です。工業生産額も日本一となり、大阪が一番輝いていた1920年代から30年代にかけて、大阪の人は自分たちの街のことを「大大阪」と呼んでいました。そうした産業や経済が非常に発展した時代に、建築もまた優れたものが生み出されていきます。こういった時代背景の中で、船場にもたくさん近代建築が造られていきます。

## 船場の近代建築① 綿業会館

**高岡** まずは**綿業会館**です。万城目さんは『近代建築デラックス』の中で、2回も訪れているんですね。

**万城目** そうなんです。やっぱり会員制と聞くと、いきなりドアを開けて「どーもー」みたいな感じでは行きづらいところがあって（笑）。それで一度目は前を通っただけで終わったんですけど、何でも書くもんじゃないと思ったのは、『プリンス・トヨトミ』のあとがきに「いつか行ってみよう」と書いたら、それを読んだ綿業会館の方が招待してくださったんです。

それとちょうど同じ頃に、やはり『プリンス・トヨトミ』を読んだ渡辺節のお孫さんの奥さんがお手紙をくださったんです。

**高岡** 渡辺節は綿業会館を設計した人

## 中央公会堂は、庶民的なところが良い。

**高岡** 中央公会堂は、大阪の方であればご存じだと思いますが、2002年に大規模な改修工事を行っています。長期にわたって保存できるように耐震工事をすると同時に、だいぶ傷んでいたの、建てられた時のままに戻そうということで外壁や内部もかなり手を入れてきれいにしています。万城目さんも書かれていますが、中央公会堂がすごいのは、あくまで市民の集会場であるという使われ方なんですよね。

**万城目** ほんとに立派ですね。

**高岡** 中集会室などは、「社交ダンスを大阪でやるならばここ」と言われているんですって。憧れのステージなんです。

**万城目** 3年前、咲くやこの花賞をいただいた時に、1階の**大集会室**で表彰式があったんですが、何が良いつてステージに立つても全然緊張しないんですね。なんかほーっと立っていられるというか、圧迫感がないんです。すごく居心地が良かったですね。

**高岡** 本当にいろいろな使われ方をしている、ガガーリンやヘレン・ケラーといった著名人が来て講演をしたという話がある一方で、戦後は集団結婚式をやっていたり、庶民的な使われ方を

してきた場所でもあります。とにかく大阪の近代建築と言えど一番最初に挙がるのがこの中央公会堂です。

## 大阪の発展と共に、船場にも近代建築が続々。

**高岡** 続いて船場にある近代建築をいくつかご紹介していきます。船場は非常に古い歴史を持っていて、豊臣秀吉が大坂城を建てた時に開発され、**江戸時代**の**区割り**が**ほぼそのまま**残っています。

**万城目** 船場と言っても広いんですね。地図で見ると本当にきれいなマス目になっている。

**高岡** そうですね。きれいに80メートル角です。「碁盤の目」というとすぐに京都を思い浮かべますが、大阪にもこんなにきれいな碁盤の目が残っているんです。

**万城目** 高麗橋通を歩くと、大坂城の天守閣が真正面に見えたそうなんです。

**高岡** その通りです。現代は御堂筋など南北の筋がメイン、東西の通はサブという位置づけですが、この当時はお城へ向かう東西の道がメインで南北がサブ、今とは主従関係が逆だったんです。その東西の道の中でも高麗橋は天守閣へ向かってまっすぐに行けるため、一番格の高い通りだったんです。

そして、大正時代になると大阪はどんどん発展していきます。大正14年（1

イトスクープ」みたいな話ですけど。

**高岡** 中に入ってみていかがでしたか？

**万城目** いやあもう素敵でした。びっくりしましたね。印象は中央公会堂と一緒に、いばつてないんですよ。会員制ですからお金を払っている人しか入れないのは当然なんですけど、すごく庶民的。おじいちゃんたちがタバコを吸いながらスポーツ新聞を読んでいた、コーヒー飲むところがあったり、2階へ上がると囲碁クラブとかもあって、

## 綿業会館

竣工●昭和6年（1931） 設計●渡辺節建築事務所 地上7階地下1階

設計者・渡辺節は、使い分けられるように部屋ごとに異なるデザイン様式を採用。贅沢な意匠は高岡さんも「特大のダイヤモンド」と絶賛する。毎月1回、第4土曜日に2部制の見学会を実施（有料・要事前予約）。問い合わせ☎06-6231-4881



江戸時代の地図を見れば、船場がまさに「碁盤の目」であることは一目瞭然。道の幅や建物の高さなどは変わったが、今も基本的な区割りは変わらない。

## ある晴れたうららかな日、中之島で…

～中之島の思い出インタビュー～

マキメに聞く



実家が谷9にあったので、子供の頃は日曜日になると、父親とよくサイクリングしに来ましたね。『ザ・万字固め』にも出てきますが、初めて藤子不二雄Aさんの『まんが道』を買ったのは、「中之島まつり」に出店していた古本屋でした。

ある日、父親とサイクリングしている時に、かなり向こうからロマンスグレーの髪型の人が歩いてくるなと思ったら、作家の五木寛之さんだったんです。うちは日経新聞をとっていて、当時やたらと広告が何かで五木さんの顔写真が一面に出ていて、それで気づいたんです。

五木さんと別れた後、さらにまっすぐ行くと、何かの撮影をされていて、70人くらいの人が空を見ながら逃げていくんですよ。後々気づいたら、映画の「ゴジラ対ビオランテ」だったんです。五木寛之を見かけた数百メートル先で、ゴジラの撮影をやっていたんです。すごく印象的な日でした（笑）。

中之島の印象は、申し訳ないんですが「貴族になり損ねたおっさん」という感じですかね。中央公会堂、図書館、日銀と並んで、大阪市役所が昔のまんまの建物なら…。きっと冗談抜きで宝の島になっていたと思います。とはいえ、両側が川で完全に視界が開け、そこに中央公会堂がどーんとある。あんなにきれいな建物の置き方はないですよ。





### 清水猛商店

竣工●大正13年(1924)  
設計●住友工作部(小川安一郎) 地上3階

正面のデザインは上下で2層に分かれ、上に3連のアーチ窓、下にはレンガ、その間には瓦があるというなんとも不思議なデザイン。構成は町家そのものながら、「顔」の部分は近代化しつつあり、建築の進化過程が垣間見え、貴重と言える。

この薄さにつながっています。ちょうどたまに隣がコインパーキングになっているのでわかるんですが、後ろに普通の家が建っています。

**万城目** これはまた細いですね。  
**高岡** ちょっと変わり種なんです。**清水猛商店**という建築装飾などを扱う店で、これも近代建築ですが、実は町家なんです。京都の町家は「鰻の寝床」と言われますが、大阪もまったく事情は同じで、間口が狭くて奥行きが広い。それを建て替えたのがこの薄さにつながっています。ちょうどたまに隣がコインパーキングになっているのでわかるんですが、後ろに普通の家が建っています。

### 清水猛商店

**船場の近代建築⑤**  
**万城目** これはまた細いですね。  
**高岡** ちょっと変わり種なんです。**清水猛商店**という建築装飾などを扱う店で、これも近代建築ですが、実は町家なんです。京都の町家は「鰻の寝床」と言われますが、大阪もまったく事情は同じで、間口が狭くて奥行きが広い。それを建て替えたのがこの薄さにつながっています。ちょうどたまに隣がコインパーキングになっているのでわかるんですが、後ろに普通の家が建っています。

### 三井住友銀行大阪中央支店

竣工●昭和11年(1936) 設計●曾禰中條建築事務所  
旧:三井銀行大阪支店 地上2階地下1階

新井ビルとは対照的に、正面のイオニア式列柱など、古典様式を多用した「ザ・銀行建築」。お金を預かる自負と安心感が漂っている。大規模な銀行建築は、転用が難しくあっさり姿を消すことが多いが、こうした勇姿が健在なのは幸福である。



感じがしますね。

**万城目** かっこいいですよ。

**高岡** 現在は周りにもっと高いビルが建ってしまいましたが、当時は両側2階建ての木造町家ですから、もう「そびえ立つ」という感じだったでしょう。だから船場の街を歩いている限りは、生駒時計店のビルを見れば時間がわかったんです。高級な輸入時計を扱う店だけあって、インテリアもすごく格好良くて豪華なんですよ。階段などにも大理石がふんだんに使われています。  
**万城目** この時代にタイムスリップしたら、時計屋になるべきですね。こんな立派なビルが建てられるんだから。  
**高岡** これはまた細いですね。  
**高岡** ちょっと変わり種なんです。**清水猛商店**という建築装飾などを扱う店で、これも近代建築ですが、実は町家なんです。京都の町家は「鰻の寝床」と言われますが、大阪もまったく事情は同じで、間口が狭くて奥行きが広い。それを建て替えたのがこの薄さにつながっています。ちょうどたまに隣がコインパーキングになっているのでわかるんですが、後ろに普通の家が建っています。

### 新井ビル

竣工●大正11年(1922) 設計●河合建築事務所(河合浩蔵) 旧:報徳銀行大阪支店 地上4階地下1階

設計者の河合は、明治時代にドイツへ留学。既成概念にとられず、古典主義を簡略化した「現代式」のデザインに仕上げた。現在はパティスリー[五感]が入り、2階の回廊部分はイトインのカフェに生まれ変わるなど見事に転用されている。



みんなリラックスするために使っている。ステータスとか、いばるために行っているんじゃないって、気分よく過ごすためにいるんじゃないって感じがしましたね。  
**高岡** 綿業会館は大阪城の天守閣と同じ年で、両方とも昭和6年(1931)に建てられています。よく引き合いに出されるんですが、これを建てるのに天守閣3本分のお金がかかったと言われています。船場の街は繊維業で栄えた歴史を持っています。が、当時の大阪の繊維産業がどれくらい力を持っていたかの一つの証ですね。こういう素晴らしい建築が、オフィス街の真ん中で何食わぬ顔をして建っているのがおもしろいところです。

### 新井ビル

**船場の近代建築②**  
**高岡** そして**新井ビル**ですね。もともととは報徳銀行として建てられました。  
**万城目** 銀行にしてはお洒落ですね。いかつくないというか。  
**高岡** 薄ピンク色のタイルを貼っていて、いかにもモダンです。普通この時代の銀行建築というと、すぐ近くに建つ**旧三井銀行大阪支店**なんですよ。古典様式に基づいた重厚でクラシックなスタイルが、当時の銀行建築としてはベーシックでした。これに比べると

### 芝川ビル

**船場の近代建築③**  
**高岡** 万城目さんは**芝川ビル**にも行かれていますよね。これはまた趣がガラッと変わっておもしろいですよね。  
**万城目** おもしろいですね。1回目に行った時はなんだか作り物っぽく見えて、コンセプト居酒屋みたいだとか悪いことを「近代建築デラックス」の中でもないっぽい言ってしまったんですが、2回目に行った時は「あら、素敵やな」と思っ反省しました。  
**高岡** 確かに建築自体は装飾過多と言われているんですけど、これはまた趣がガラッと変わっておもしろいですよね。  
**万城目** おもしろいですね。1回目に行った時はなんだか作り物っぽく見えて、コンセプト居酒屋みたいだとか悪いことを「近代建築デラックス」の中でもないっぽい言ってしまったんですが、2回目に行った時は「あら、素敵やな」と思っ反省しました。  
**高岡** 確かに建築自体は装飾過多と言われているんですけど、これはまた趣がガラッと変わっておもしろいですよね。  
**万城目** おもしろいですね。1回目に行った時はなんだか作り物っぽく見えて、コンセプト居酒屋みたいだとか悪いことを「近代建築デラックス」の中でもないっぽい言ってしまったんですが、2回目に行った時は「あら、素敵やな」と思っ反省しました。

**万城目** なるほど。  
**高岡** 木造の小さい家なんですけど、店の部分との間に坪庭もあって、町家とまったく同じ造りです。通りに面して店があり、奥に住宅がある表屋造りの配置。さらに言うと、前面はコンクリートを使った近代建築に見えますが、実は木造なんです。つまり木造の町家の暮らしから近代建築へと変わっていく、ちょうど過渡期の建物という存在なんですね。  
**船場の近代建築⑥**  
**船場ビルディング**  
**高岡** こちらは**船場ビルディング**です。道路側から見るとわりとあっさりしているんですが、有名なのは内部の空間ですね。中庭があり、それを囲むように廊下があって、それに面して部屋がある。ここもテナントビルとして人気があって、デザイナーや建築設計事務所などがたくさん集まっています。ただ、もともとは中庭として設計したわけではありません。ビルの奥でも商いをしていましたから、馬車や荷台を道路からそのまま引き込めるようにするのが最初の機能的な理由だったんです。もちろん今はそういう機能は失ってしまっていますから、きれいな中庭にしたところ、評判になって注目を集めるようになったと。船場の近代建築活用の先駆的な事例です。  
**万城目** へえ。かっこいいですよ。

われてもしかたがないくらい濃密な装飾が施されています。中南米の古代インカ文明、マヤ文明の遺跡あたりからモチーフを採ったのではないかと説明がよくされますね。あるいはフランク・ロイド・ライトの帝国ホテルの影響を受けているんじゃないかと。  
**万城目** おもしろいのは、そう言われると僕も「はーん」と納得してしまうんですが、実は「インカ風」の建物なんて他に一つも知らないという(笑)。  
**高岡** 確かにそうですね(笑)。この芝川ビルにはここ5年くらいの間にとってもお洒落な店が増えてきました。チヨコレートショップやメガネ屋さん、女性服のお店も入っています。ビルを訪れる人も若い女性が増えてきて、最近の大阪で近代建築を活用する流れの中では注目を集めています。  
**万城目** 昔は金庫室だったところにある地下のカフェに行きましたけど、すごく良かったですよ。

**船場の近代建築④**  
**生駒ビルディング**  
**高岡** これは「近代建築デラックス」では取り上げられていませんが、元時計屋さんのビルです。  
**生駒ビルディング**という輸入時計を扱うお店が建てた近代建築ですが、これも芝川ビルと似ていて、ちょっと「濃い」  
**大阪の近代建築には、ストーリーがある。**  
**高岡** 「近代建築デラックス」では、大阪に限らず日本各地の近代建築を巡っていますけれども、万城目さんから見て「大阪の近代建築らしさ」というのはあるものでしょうか？  
**万城目** 大阪は他の都市と比べて密集度が断トツに高いですね。それからテナントとして今も残っている率が格段に高いと思います。他の都市は大きなものしか残っていないんですが、大阪の場合は中から小の建築が断トツに多く残っている。たぶん一番日本で近代建築をチェックしやすい状況にあるんじゃないかなと思います。  
**高岡** 1日で巡りきれぬくらいのエリアにぎゅつと凝縮している感じですね。  
**万城目** あとは今日聞いたような「ストーリー」が残っている建築が多い気がします。教科書的に説明されてもなかなか興味を抱かなくて、そこに短いストーリーなりおもしろいエピソードがちよっとくつつくだけで、「ああ見てみたいなあ」となる。ストーリーがあることで急に建物がオーラを持ち始めて、知的好奇心が湧く。大阪にはけっこうそういう建築が多い。小説に使えるのも、やっぱりそれだけ材料としてのポテンシャルがあるということでしょうね。

### 船場ビルディング

竣工●大正14年(1925)  
設計●村上徹一 地上4階地下1階

通りに面した外観はそれほど目立たないものの、広々とした明るい光の差し込むパティオ(中庭)が有名。元は馬車や荷車を引き込むための通路だったが、これはかつて船場は道が狭く、ビルの前に止めたままにすると後ろがつかえるとの配慮。

### 生駒ビルディング

竣工●昭和5年(1930) 設計●宗建築事務所  
旧:生駒時計店 地上5階地下1階

時計や貴金属を扱った生駒時計店は今なら高級ブランドショップ。流行の最先端をアピールすべく、新しい発想を求めた。それに応えて、当時流行のスクラッチタイルを全面に採用。東側の時計の振り子を思わせる窓など今見ても斬新だ。



### 芝川ビル

竣工●昭和2年(1927) 基本・構造設計●澁谷五郎  
意匠設計●本間乙彦 地上4階地下1階

竜山石を使用した濃密な彫刻は、施主である芝川家の当主・又四郎の手記によると「私の趣味」。レトロな建築の良さを活かしたセンスの良いテナントが集まるテナントビルだが、かつては「芝蘭社家政学園」という花嫁学校だったと聞くと驚く。







トークショーでは、高岡さんの建築解説に、万城目さんが「そこから来るか!」という視点からのコメントを連発。会場は終始、笑いに包まれていた。

## 映画『プリンセス・トヨトミ』の脚本案があった。

**万城目** そう言えば、『プリンセス・トヨトミ』を映画化する際、ボツになった脚本案があるんです。辰野金吾が日本に残した建築が51あるはずなんですが、日本に残っているのは50しかなく、残りの一つがどこかにあるらしいと言われていた。「でもそんなのは都市伝説ですよ」みたいなことを言いながら、東京駅の前を会計検査院の調査官3人が通っていく。そして最後に大阪城の地下で、その最後の一つを見つけて…。東京駅が改修中でロケが一切できなかったのでもったいなんですが、文化的なものをキーワードに使うと、ミステリーのストーリーに一気に深みが出るので使い勝手が良いんですね。

**高岡** その話、めちゃくちゃ面白そうですね。

**万城目** 大正時代の大阪を舞台にした小説のアイデアを少しずつあためていくんですよ。そうすると、今残っているものをいかに効果的に使うかが大事になってくる。例えば中央公会堂の前で事件が起きたりすると、「ああ、あそこか!」とわかりますよね。そういう風な使い方で現存する建物を利用するんだらうけど、相当難しいだろうな、と。書くためには資料の範囲を一步步踏み越える覚悟も要りますよね。

## 近代建築を支えるオーナーの心意気。

**万城目** ビルのオーナーのみなさんは、「見せてほしいんですけど」と言ったら、すぐに見せてくれるものですか？  
**高岡** そうですね。ほとんどの近代建築がオフィスなどとして使われ、普通に仕事をされていますから、確かに気軽に見学できるわけではありません。でもパンフレットをつくって配布するなどの、建物の歴史と魅力を知ってもらおうと活動をされている近代建築のグ

ループもあります。最近盛り上がっている近代建築ツアーに参加すれば、内部見学できることもありますね。

**万城目** 今後も保持していきたいというオーナーの方が多いんですか？

**高岡** はい。何とか残していきたいという方が多いですね。

**万城目** それはやっぱりゆとりがあるというか、余裕があるということですね。

**高岡** 実際は厳しいところもあるんですが、それでも何とかして…という方が多い。尊敬すべきことだと思います。

## 万城目学の大阪文庫

マキメを読む

『ザ・万字固め!』(ミシマ社・1,575円)  
万城目ワールドと呼ぶしかない、自由奔放かつ予測不能な展開を見せるエッセイを集めた最新刊。大阪市営地下鉄の各路線を戦隊もののキャラに例えるなど、大阪や関西に住む人のツボを突く「マキメマナブの関西考」の章は特に笑えること間違いなし。そのほか、2011年の東京電力の株主総会に参加したレポート「やけどのあと」といったシリアスな文章も収録されている。

## 『ぼくらの近代建築デラックス!』

(文芸春秋・1,628円)  
大阪、京都、神戸、横浜、東京の五都市の近代建築を、小説家であり建築史にも詳しい門井慶喜さんと巡り歩く。万城目さんのちょっととぼけた感想と、門井さんの話すのが楽しくてしかたないといったウンチクがうまくミックスされている。大阪では中之島と船場境界の建築が登場するほか、ラストのまよめとの対談の舞台として、万城目さん絶賛の綿業会館をスーツ姿で訪れている。

## 『ザ・万遊記』

(集英社文庫・540円)  
エッセイ集第2弾。大阪に関するものも多いが、出色は「二月十三日のさすが大阪」。対談にもある。咲くやこの花賞受賞時の中公会堂での、いかにも大阪なエピソードに大笑い。

## 『プリンセス・トヨトミ』

(文春文庫・750円)  
大阪城の地下に潜む謎の建物とそれを守ろうとする大阪の人々が、東京からやって来た査察官と全面対決。日本の建築界にその名を轟かせる辰野金吾が物語のキーワードに。



4/10からいよいよ受験申し込みがスタート!

# 大阪検定を遊べ。

なにわなんでも®  
大阪検定

4年前、大阪検定のスタートにあたり、私は四つの目標を掲げました。「大阪を再発見する機会の提供」、「大阪を知り愛する運動の推進」、「大阪の都市ブランドの向上」、そして「大阪を体験する機会の提供」の四つです。

大阪検定を始めようとした時、「大阪に学ぶべき歴史や問題に出すような蓄積があるのか」との声もありました。しかし、過去4回の実施を経て、すでに1万5000人もの方が受験し、「これまで知らなかったわがまち大阪の魅力を知ることができた」など、様々な喜びの声を聞くことができました。

大阪市内の書店では、大阪検定のテキストを中心にした間にか大阪本のコーナーが設置されるようになりました。また、大阪検定の始まりとともに、私が企画した「大阪あそび」や「大阪旅めがね」の活動も始まり、まち歩きをする人たちの姿は今や大阪の日常のものとしてすっかり定着した感があります。

10年前にはとてもあり得なかったことです。いずれも大阪検定が大きなきっかけとなり、我々大阪人が有していたわがまちへの誇りや地域愛を掘り起こすことにつながったと言えるでしょう。なんとも心強く嬉しいことです。

## 大阪検定企画会議座長 橋爪紳也さんに聞く 大阪検定が生み出した、 まちへの誇り。

第5回目を迎える「なにわなんでも大阪検定」が、6月30日に実施される。今年のテーマは「東洋のマンハッタン中之島」。大阪検定の実現を呼びかけ、その立ち上げから企画・運営を主導し、公式テキストの監修者でもある橋爪紳也さんに、大阪検定にかける想いを聞いた。

## 「大阪ファン」を増やしていくために。

これらの動きを今後さらに大きなものにしていくには、合格者の方それぞれが核となり、その周囲に大阪ファンを増殖させる波をおこしていく必要があります。とりわけ、大阪博士とも言うべき1級合格者の方々には、大阪の語り部として、スポーツクスマンとして広く活躍していた



だかなければなりません。大阪検定連携事業として「1級合格者と行く」と題したまち歩きを実施していますが、毎回定員を大きく上回る参加希望が寄せられています。

また今年4月からは、私が所長を務める大阪府立大学観光産業戦略所において、

1級合格者13名が客員研究員として活動します。大阪の地域資源をいかに魅力的に見せ、大阪への誘客につなげていくかなどについて1年間で研究成果をまとめ、発表してもらおうことになっています。

## 過去問題からも出題、 今年のテーマ問題は中之島。

今回から、都心部のりそな銀行本社が新たに試験会場に加わり、受験者の利便性向上を図っています。また、導入級とも言うべき3級では50%以上、2級においても30%以上の問題は、過去に出題された問題から出題されることになりました。受験に対する不安感もかなり軽減されるのではないのでしょうか。

大阪検定の名物とも言うべきテーマ問題ですが、今回は「東洋のマンハッタン中之島」です。江戸時代より大阪の経済・文化・行政の中核的役割を担ってきた中之島は、昨年11月に中之島フェスティバルタワーが開業するなど、水都大阪の象徴として整備が進んでいます。また中之島西部周辺には川口や江之子島など幕末から明治初期に大阪の拠点として開発された歴史もあります。週末はこのあたりを巡りながら大阪の魅力を再発見し、大阪検定に臨んでいただきたいと思います。



大阪検定2級最年少合格者・松枝千世さんがレポート

## 大阪検定の・中之島の歩き方。

◎楽しく学べる勉強法付き

大阪検定の合格者の人たちは、どんな風に街を見ながら歩いているのだろうか？  
第3回の検定で2級最年少(27歳)合格した松枝千世さんが、中之島を歩き、  
大阪検定の勉強の進め方や、合格の秘訣を語ってくれた。



地図があると、道や橋を覚えやすいし、行ったところに印をしておけば振り返りにも活用できるので、1枚あると重宝するよ。今回は「中之島今昔案内」(※1)でまあるき出発！

其の二  
迷いながらも、まちを歩いてみるべし。

私にとって中之島は、職場から近いので帰りにデザイナーで立ち寄る気分でオシャレな存在。幼い頃は、中之島まつりに毎年行って似顔絵を描いてもらった思い出も。大阪検定2級試験を合格できたのは、大阪に対する好奇心のおかげとされている。試験勉強のために本をただ読んでも「ふうーん」「へえ」ばかりでイメージも湧きにくいから、本に出てくるまちな行って

みたのがよかった。

とはいっても、ついこの前まで本町橋から公会堂へ自転車で行くのに迷って一苦労するくらい地理は大の苦手であまりあるなんて眼中になし。車の免許も持っていないから、御堂筋が一方通行になっていることも数年前に初めて知って衝撃を受けるくらい、大阪のことを全く知らなかった。迷いながらもまちを歩いてみると、今まで素通りしていた道も橋も建物も、本で得た断片的な知識と絡んで大阪のまちな興味深い対象にかわり、大阪のことがますます好きになっていった。

其の二  
想定問題を自作してみるべし。

私の勉強法は、「本を読んで、ゆかりの地を実際に歩く」。名所旧跡に出会ったら「自分で予想問題を考える」。選択肢も想定することで、類似情報も整理されるからオススメ。例えば、今回の中之島あるきでは、「橋」「近代建

其の四  
重要項目は何度も反復すべし。

銀行大阪支店が中之島の前に今橋で初めて開設した時の初代支店長は誰？  
(1) 五代友厚 (2) 藤田伝三郎 (3) 外山脩造 (4) 広瀬幸平」と1級クラスの問題を一考。

歴史に思いを馳せられる像や石碑も、試験勉強に役立つ。各藩の年貢米の保管や売買をするために蔵屋敷が中之島や周辺に立ち並んでいた江戸時代、堂島米市場はまさにその中心的存在。ガーデンブリッジ北側の堂島米市場跡記

近くでオススメスポットはありますか？



堂島米市場跡記念碑です。後ろの橋や向かいのホテルでは、NHKドラマ「純と愛」のロケがされてたよ。

念碑をよく見たら、市場のロゴマークを発見。このマーク入りのハッピを着られることは、当時の米市場で働く人たちのステータスだったとか。大阪検定で、江戸時代の大坂三大市場は重要項目だから「江戸時代の大坂三大市場」に含まないのはどれ？ (1) 堂島米

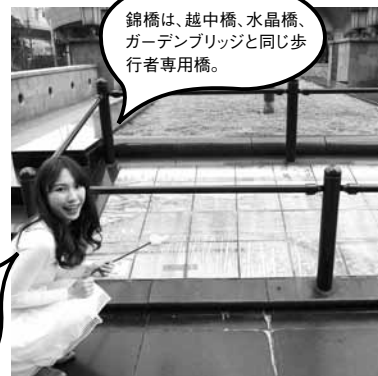
其の五  
新しいスポットも忘れるべからず。

市場(2) 雑穀市場(3) 天満青物市場(4) 黒門市場」と基本を復習。雑穀市場跡碑と天満青物市場跡碑は、堂島米市場記念跡碑からまちなあるきで行ける距離なので、寄って位置確認をしておきたい。

まちなあるきをするなら、その地の食も味わいたい。中之島は美味しいレストランやカフェがどんどん増えているから、寄れば楽しさ倍増まちなあるき。川床レストランがならぶ北浜テラスや中之島パルクスでは、川を眺めながら食事を楽しめる。大阪検定は、歴史的な問題だけでなく新しい話題の問題もよく出るので、「2008年に街開きをした、ほたるまちなにある施設はどれ？ (1) 北浜テラス (2) 中之島パルクス (3) 堂島リバーフォーラム (4) ダイビル本館」や、「2012年に中之島で行われていない行事は？」

(1) 春・中之島まつり (2) 夏・中之島大川花火大会 (3) 秋・ラバーダックの展示 (4) 冬・OSAKA光のルネサンス」などを思い浮かべながら、ひとやすみ。

中之島を歩いてみると、大阪の近世(現代の歴史に触れることができ、想像以上の出会いや新しい発見があつて



錦橋は、越中橋、水晶橋、ガーデンブリッジと同じ歩行者専用橋。



江戸時代の橋の番付表を発見！歩くと地図に載っていないものを発見できることも。

築「像・石碑」の3つのポイントをおさえて歩くことに。これらを意識して歩けば、中之島に関する歴史や人物、地理もあわせて覚えられそう。

中之島は、本場に橋が多い。ライオン像で有名な公儀橋(※2)である浪華三大橋の難波橋、もともと河川浄化を目的に可動堰として作られた錦橋と水晶橋、幅20mもある歩行者専用橋のガーデンブリッジなど、個性があつて覚えやすい。

浪華三大橋の特徴といえば、天満橋だけ今も中之島の上に架かっていないで、天神橋だけ電車の駅名に採用されていないで、難波橋だけライオンが4



中之島フェスティバルタワーの壁面に復活したレリーフ「牧神、音楽を楽しむの図」。実は信楽焼！



この橋の下の中之島公園では、昨年映画にもなった「黄金を抱いて翔べ」の撮影が行われたよ。

中之島が登場する小説や落語の作品って多いですね。



## なにわなんでも大阪検定3級想定問題

Q1. 中之島にない近代建築はどれでしょう？

- ① 大阪市中央公会堂 ② 大阪ガスビル ③ 日本銀行大阪支店 ④ 大阪府立中之島図書館

Q2. 中之島に架かる橋のうち、駅名にもなっていて国の重要文化財に指定されている橋は？

- ① 難波橋(なにわ橋) ② 渡辺橋 ③ 大江橋 ④ 肥後橋

A1. ② 大阪ガスビル 解説: 大阪ガスビルは、難波橋から堺筋を南下した平野町にあるよ。中之島・北浜付近は、近代建築が豊富!堺筋には、他にも大阪証券取引所や新井ビル、高麗橋野村ビルディングなども。ビル内でカフェができることもあるから、チェックしてね。  
A2. ③ 大江橋 解説: ①②③はいずれも京阪中之島線の駅、④は地下鉄四つ橋線の駅。③大江橋は淀屋橋と一体となってデザインされていて、平成20年に国の重要文化財として指定された時も一緒だったんだ。だから、大江橋を淀屋橋と間違えて渡っている人も多いみたい。大江橋、なんだかちょっとかわいそう。堂島川に架かるのは大江橋、と覚えてあげてね。



公会堂は現在、国の重要文化財にも指定されていますよ！

岩本栄之助さん、100万円のご寄付、本当にありがとうございました！

頭もいてオシャレ。地図を見ていると、京阪電車中之島線も橋がつく駅名多いなあと改めて気づく。そこで、「京阪電車の初代おけいはんは淀屋けい子。では昨年選ばれた5代目おけいはんの名字は？」(1) 天満 (2) 大江 (3) 難波 (4) 中之島」と想定問題を考える。

其の三  
近代建築は建築家と年代を覚えるべし。

大阪が大大阪時代と称され、その輝かしい時代を象徴する重厚で壮麗な近代建築は、中之島周辺に集結しているから必見。ひととき大きく見ごたえのある大阪市中央公会堂と日本銀行大阪支店は、両方とも辰野金吾さんが設計に関わっている。この方は、昨年復元されて話題になっている東京駅も設計。日本銀行大阪支店は、今年110歳とたがいま中之島最年長の近代建築なのに国の重要文化財指定は受けていないなあと思いつながら「1882年、日本



## 第5回 なにわなんでも大阪検定

なにわなんでも大阪検定とは… なにわなんでも大阪検定は、大阪が持つ歴史・文化の奥深さを再発見し、様々な大阪の魅力を知っていただくことを目的とした検定試験です。講座やまち歩きなどを通じて大阪の魅力を知っていただく機会や合格者間の交流を深める場を提供しています。なにわなんでも大阪検定を通じて、大阪を知り愛する運動を推進し、大阪の都市ブランド向上を目指します。

### ●試験日

平成25年6月30日(日)

### ●会場

大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス  
常翔学園 大阪工業大学 大宮キャンパス  
りそな銀行大阪本社

※1級受験者の会場は大阪府立大学のみです。

※2、3級受験者は受験希望会場を2カ所まで選択可能。

ただし、各会場の定員を超える希望があった際は抽選。  
(受験会場は受験票にてお知らせします。)

### ●受験料

1級 5,500円 2級 4,400円 3級 3,300円

※団体受験の場合は各種割引制度もあります。詳しくはお問合わせください。

### ●申込期間

平成25年4月10日(水)～5月22日(水)

### ●出題範囲

大阪府域の「歴史」「文化・芸能」「産業」「食」「観光」「ことば」  
「自然」「地理」「スポーツ」などの分野から出題。

歴史的事項から現代的事項まで幅広い知識・情報を総合的に出題します。

### ●公式テキスト

大阪の教科書 増補改訂版「大阪検定公式テキスト」  
1,995円(税込・創元社発行)

### ●申込方法

①郵便振替での申込み

②インターネットでの申込み 大阪検定HPよりお申込みください。

③大阪検定取扱書店・府内のイオン16店舗での申込み

指定書店・店舗は受験要項、HPに記載

※団体でお申し込みいただく場合は下記までご連絡ください。

### ●お問合わせ

なにわなんでも大阪検定事務センター

☎06-6944-7728(平日10時～17時)

◎受験要項(申込書付)は、大阪商工会議所、大阪府、大阪市、堺市の関連施設、指定書店(51店舗)などのほか、新たにイオンリテール株式会社の協力により府内のイオン指定16店舗でも配布します。また、希望者には受験要項を郵送します。

大阪検定

検索

### ◎大阪検定今年のテーマ

## 東洋のマンハッタン“中之島”

～進化し続ける経済・文化・歴史の拠点～

いずれの級においても、本テーマに関する問題を15%程度出題します。「中之島とその周辺」の歴史、文化、経済、地理、また最近の動きに関わる事項等から出題します。まち歩きマップを入手するなどして、中之島とその周辺の魅力に直接触れてみてください。



王国はいかにして  
生まれたのか?



ナカノシマ大学  
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の  
懐徳堂  
プロジェクト

写真／内池秀人

◎今月の授業

## 【鉄道】

2013年5月講座

「すごいぞ! 鉄道王国・大阪(私鉄編①)」

講師／黒田一樹(中小企業診断士・鉄道愛好家)



くろだ いっしき  
東京在住の中小企業診断士だが、京阪電車80形を保存するなど無茶な発想と行動を愛する鉄道道楽者。月刊島民の鉄道記事と言えば、この人をおいて他にはいない。

ナカノシマ大学の新シリーズがスタート。  
大人気だった鉄道王国・大阪を語る講座が、  
より深く、濃くなって再び出発進行!

昨年2月講座として開催された「すごいぞ! 大阪の鉄道」は、月刊島民でもおなじみの鉄道愛好家・黒田一樹さんのトークがライブで聴けるとあって、あっという間に満員御礼。急ぎよ会場のキャパを増やすほどの盛況だった。単なるウンチクではなく、電車の車両や駅舎などが「なぜそうなっているのか?」の背景を

探る黒田さんのユニークな視点は、京阪電車特集(2012年9月号)など、その後も人気が高い。そこで新たに「すごいぞ! 鉄道王国・大阪」と題して、バージョンアップしたシリーズを開始。大阪を走る鉄道各社を一気にダイジェストで紹介した前回とは異なり、今回から3～4回にわたってよ

り深く「王国」たる大阪の鉄道の面白さを語ってもらう。上品なイメージの阪急、新旧が共存する南海、技巧派と呼ばれる京阪、旅情を漂わせる近鉄、そしてスピードにこだわる阪神。黒田さんが見出した、それぞれの鉄道を読み解くためのキーワードを軸にして、各社の個性を掘り下げていきます!

### 「すごいぞ! 鉄道王国・大阪(私鉄編①)」

日時／2013年5月22日(水)

7:00PM～8:30PM(開場6:30PM)

会場／大阪市中央公会堂 小集会室

受講料／2,000円

定員／100名

主催／ナカノシマ大学事務局

協力／大阪21世紀協会

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階  
「ナカノシマ大学5月講座」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。  
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは  
こちら!→



お問い合わせ ☎06-4799-1340  
(ナカノシマ大学事務局)

わたしも受けました!

## 大阪検定ファンの声

オウ ミ ミ  
王 眉舒さん(23)  
●中国出身  
資生堂販売(株)近畿支社



私は中国生まれの東京育ちです。初任地が大阪で、人の勢いや関西弁などに圧倒されました。大阪を知って仕事に活かしたいと思い受験を決め、今はお得意先さまと、中国・東京・大阪の違いで盛り上がることもしばしばあります。

もともと大阪とは関わりがなかったのですが、大阪で勤務していることから大阪検定を受験いたしました。教科書は分厚く、最初は不安でしたが、読み進めていくうちに大阪ことばや歴史にも触れられて、とても楽しい受験勉強になりました。この経験を仕事にも活用できるよう、日々の業務に取り組んでおります。

た く わ  
多久和豊治さん(64)  
●島根県出身  
関西ハイタク事業協同組合



大阪検定に受かって4年目で、観光タクシーの乗務員である私には大変役立っています。先日月刊島民をお見せしながら、阪大病院跡地や中之島にかかる橋のいわれなどの話で、お客様と大変盛り上がりました。皆様も「大阪検定」を受験頂き、ぜひ趣味や仕事に活用してください。

む ね か  
眞鍋宗華さん(26)  
●奈良県出身  
(株)ロイヤルホテル



中之島は散歩もジョギングも楽しいです。テラスで飲む夏のビールも冬のホットワインも美味しいし、桜も薔薇も綺麗です。春夏秋冬水辺のイベントも盛り沢山、おもしろい島です。大阪の教科書で学んだことを島で実践してください。



まのり  
森 克典さん(53)  
●大阪府出身  
会社員



このうどん屋のことは、今まで20回くらい雑誌や単行本に書いた。それよりも20年ぐらい通っている。とくに堂島浜1丁目にオフィスが引越してからは、すぐ前の四つ橋筋を東へ渡って徒歩2分にあるので、ほぼ2日に1回は行く。昼に安い方のA定食（830円）を食べて、夜にまた客や仲間が来て食べに行くということも多い。

夜はうどん屋なのにうどんを食べず、毎日半紙に書かれている季節メニューの金時草の三杯酢や天ぷら、たけのこご飯などを飲む+食べるのパターンで楽しんでる。あんまりうまいのと酒をやっているの、うどんを食べに行っているはずなのに、うどんを食べるのを忘れたりするからだ。

いわば居酒屋みたいな感じで使わせてもらっているのだ。肉じゃがとかとり肝煮といったグラントメニューもうまいし、天ぷらはうどんのメニューのうどん抜きのかき揚げ含め、松茸をそのまま切った天ぷらにしたのとか、噛むと糸を



この店は昭和30年（1955）、大阪じゅうの料亭や割烹の絶大な信頼を得る黒門市場にて開店。夜になると店を閉める青果店の店先と冷蔵庫を活用した屋台だった。その青果店は「鍋溜りであり（知ってる人なら、ははんと思っ）、先ほどの野菜の天ぷらなどのメニューはこの店のものを使っている。客は芸能関係者から現職の大臣まで、北新地か

写真／川隅知明



#### 黒門さかえ

早い時間は着物姿のママさんが出勤前の食事、遅い時間は北新地の酒場のハシゴ後の客が多い。うどん屋なので一見さんにはやさしい、サッと飲んでサッと食べるだけなら3,000～4,000円で済む。うどんメニューは、わかめ 800円、きざみ 800円、きつね 900円、カレー 900円、こえびみつま 1,200円などなど。  
☎06-6344-0029 11:30AM～2:00PM  
6:00PM～11:30PM 土・日・祝休

→この原稿のロングバージョンを読みたい方、拙著『「うまいもん屋」から大阪論』（NHK出版新書）では、65ページから72ページにわたって書いています。これを読んで店に行く人もけっこういるらしい。

# 島民よ、この店のことを食べろ！

## 第二回「黒門さかえ」で、絶句すべし。江弘毅 本誌編集発行人

引くレンコンとか苦さが絶妙にうまいゴーヤなど、野菜の天ぷらは最高のものだと思っている。だからわたしは北新地では天ぷら屋は知らない。けれども基本的にはうどん屋なので、その細うどの「黒門さかえ」物語を少々。

ら黒塗りのハイヤーを行列させるような勢いだった。大卒国家公務員の初任給が1万円ほどの時代に、1杯600円のとびきりの活海老の天ぷらを載せただけで、90秒で茹でられる細うどんのみ。日に200杯は出ていたという。初代はダシが入った一升瓶とうどんを携えて、その頃就航していた日航機の深夜便「ムーンライト」に乗り、銀座にも出前していたという話もあるから豪勢な時代だった。

昭和50年（1975）に移転し、現在の店として開店した（「元黒門さかえ」と表記する場合もある）のもそんな北新地の客からの要望だった。と、こんなところ。内田樹せんせはブログで、だしを一口飲んで「あつ」と絶句するうまさ、とのみで表現していた（文字通り絶句ですな）。

月刊島民から生まれた本！

ナカノシマ大学  
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

## 久坂部羊『ブラック・ジャックは遠かった』発売記念トークショーを開催。

人気急上昇中の春野恵子さんと、学生時代の「ふらふら」トーク。

月刊島民にて、40回の長きにわたって連載された久坂部羊さんの「中之島ふらふら青春記」。先月号でも特集したように、かつて中之島にあった阪大医学部に通っていた久坂部さんが、当時の思い出を綴った青春記。ついに単行本になって発売され、それを

記念したトークショー第1弾が、3月12日に中之島バンクスのカフェで行われた。

本のサブタイトル「阪大医学生ふらふら青春記」にちなんで、「あの頃、ふらふらしてました（苦笑）」と題して行われたトークショーのゲストは浪曲師の春野恵子さん。英語の浪曲にチャレンジするなど、注目を集める恵子さんは、東京大学教育学部を卒業後、タレント活動を経て浪曲師になったという経歴の持ち主。学生時代の話を中心に、なかなか聞けない「ふらふら」トークで盛り上がった。

### 小説と浪曲。極めたいと思えるものを見つけた幸せ。

大相撲が好きで、制服姿で朝稽古を見学してから学校へ通っていたという女子高生時代の思い出を披露してくださいました恵子さん。負けじと（？）久坂部さんも、「男性もので着たい服がなくて女性ものの服を買ったら、母親にすぐに捨てられた」「祖父が旧制高校時代に着ていたマントを着て学校に行ったら、中学校時代の友人から『お前の高校に、変な格好したヤツがおるらしいな』と電話がかかってきた」など、仰天エピソードの数々



3月12日（火） ナカノシマ大学スペシャルトーク

### 「あの頃、ふらふらしてました（苦笑） Vol.1」

@中之島バンクス de sign de > cafe  
ゲスト／春野恵子さん（浪曲師）

に会場は常に笑いに包まれていた。

トークの中でお二人の共通点として挙がったのは、一生をかけて追究したいと思えるものに出会えたことだった。久坂部さんは小説、そして恵子さんはもちろん浪曲。受験勉強中に、突然頭の中でストーリーが動き出し、「一晩明けて目覚めたら、自分は小説家になるんだと思っていた」という久坂部さん。一方、恵子さんは、なんのつもりもなく観に行った浪曲に激しく感動。「明け方まで考え抜いて、朝の4時に母親を起こして『わたし、浪曲師になる！』って言ったんです」。

どちらも一夜にして自分の進むべき道を（なんの根拠もなく）確信したわけだが、そうした強い決意があったからこそ、回り道のようにも思える過去の出来事もさりとて笑って話せるのだろう。自分自身を惜しみなく捧げられるものを得た人の、幸せさと強さを感じられるトークと



『ブラック・ジャックは遠かった』  
阪大医学生ふらふら青春記  
（1,470円／140B刊）

一浪の末に名門・大阪大学医学部に合格した久坂部青年だったが、入学後はすっかり落ちこぼれに。授業はサボリ、試験はカンニング、暇さえあれば旅に出て、将来は作家になりたい。アホで夢見がちで貧乏で、でも根拠のない希望に満ちていた学生時代。今や絶滅した「昭和の医学生」のふらふらぶりと純粋さに、新鮮な感動と憧れを覚えるはず。



## 2013年4月1日発行

展や、京都市美術館で開催中の貴族に愛されたコレクション「リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝」、日本初公開の自画像が目玉の「ゴッホ展」など京阪沿線アートののできあがりだ。

この4つの美術展が開催されるにあたり、京阪電車では

この4つの美術展が開催されるにあたり、京阪電車では

美術展を巡るスタンブライ  
を開催中。各会場近くの京阪  
電車の駅と会場に設置中のス  
タンプを、駅↓美術展会場の  
順番で押し、会場で提示すれ  
ばオリジナルのグッズが先着

でプレゼントされる。フリー用紙は京阪電車の主要な駅に設置されているので、美術展を訪れる際は忘れずに取っておこう。（江口由夏・本誌）

13/03/23 11:24



# 大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、  
みんな「島民」です！



## 『月刊島民』はここでもらえます。

●京阪電車関連 京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／テリスタ天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋  
●大阪市北区・中央区・福島区 〔書店〕旭屋書店 梅田地下街店／旭屋書店 堂島地下街店／カペラ書店／紀伊国屋書店 本町店／ジュンク堂書店 大阪本店／ジュンク堂書店 梅田ビルトンプラザ店／ジュンク堂書店 天満橋店／MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店／スタンダードブックストア／天牛坂書店 大江橋店／ブックファースト 梅田店／ブックファースト 淀屋橋店／文教堂書店 淀屋橋店／隆祥館書店  
〔公共施設・大学関連施設など〕アイズボット／朝日カルチャーセンター／味の素 食のライブラリー／ABC朝日放送／大阪企業家ミュージアム／大阪倶楽部／大阪工業技術専門学校／大阪国際会議場／大阪市中央公会堂／大阪市立中央図書館／大阪府役所市民情報プラザ／大阪城天守閣／大阪商工会議所／大阪大学中之島センター／大阪21世紀協会／大阪府立中之島図書館／大阪フィルハーモニー会館／大阪ボランティア協会／大阪歴史博物館／追手門学院 大阪城スクエア／関西学院大学 大阪梅田キャンパス／慶應大阪リバーサイドキャンパス／国立国際美術館／CITY NAIL'Sインターナショナルスクール／芝川ビル／市立住い情報センター／中央電気倶楽部／ホテルNCB／メビック扇町／立命館大阪オフィス／龍谷大学大阪梅田キャンパス  
〔店舗・医院など〕アリアスカ マーブルトレ／アンドール 本町本店／上町貸自転車／Ultra 2nd／江戸前料理 志津可／天満橋鍼灸整骨院／MJB珈琲店／大西洋服店／000(オー)／カセッタ／喫茶センター／喫茶SAWA／グランドコート中之島／黒門さかえ／コモンカフェ／サウ花店 中之島本店／ザ・メロディ／じろう亭／Girond's JR／心斎橋山田兄弟歯科／住友病院／セフィレフン大阪証券取引所店／タビエスタイル／ティーハウスジカ／たまがわ鍼灸整骨院／東郷歯科医院／NAKAGAWA1948 淀屋橋店／ナンジャ／バスターレー／花かつ／BAR THE TIME 天神／平岡珈琲店／ビルマニアカフェ／フレイルハウス／ミニジロー／宮崎歯科／やきとり ばかや／吉田理容所／ラックカーニャ／LES LESTON  
●大阪市内その他 〔書店〕伊勢屋書店／大阪書店／紀伊国屋書店 京橋店／なんばミヤタ／福島書店／柳々堂／ループル書店 〔公共施設・大学関連施設など〕大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪市立図書館／川口基督教会 〔店舗・医院など〕あじさい／アートアンドクラフト／欧風食堂 ミリパール／大阪市信用金庫 江戸堀支店／御船かもめ／Cato Bookshop and cafe／写真とプリント社／鳥かごキッチン／ネイルサロン スワンナ／バルビコ／ホテル64オオサカ／MANGUEIRA／Loop A  
●大阪府下 旭屋書店 京阪守口店／学運堂 フレスト店／Books 呼文堂／水嶋書房 くずはモール店／水嶋書房 くずは駅店／大阪狭山市立図書館／大阪大学企画広報・学芸連携事務局／大阪大学 21世紀環境学／大阪大学本部／寝屋川市役所／摂南大学 地域連携センター／郵政考古学会／ゆったりん  
●大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店／水嶋書房 丹波橋店／伊丹市文化振興財団／大手通リストリットギャラリー 街・発信／納屋工房／タバーン・シン普森／百練／奈良県立図書館情報館

## ◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

## ◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

## 次号予告 グッドモーニング中之島

中之島で一番気分よく過ごせるのが、実は朝だということは  
多くの島民が知っている。過ごしやすいこの季節は早起きするのが大正解。

●『月刊島民』vol.58は2013年5月1日発行です！

編集・発行人／江 弘毅(編集集団140B)  
編集・発行／月刊島民プレス  
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)  
松本 創 大迫 力(編集集団140B)  
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階  
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341  
制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL)  
デザイン／山崎慎太郎  
表紙イラスト／奈路道程  
印刷／佐川印刷株式会社

## 祝祭に包まれて

—わたしのフェスティバルホール—

取材・文／松本 創(本誌)

「劇場の空気が醸し出す格式と風格、歴史の重み。カラヤン、バーンスタイン、マリヤ・カラスにロリン・マゼール：偉大なアーティストたちが舞台上に刻み込んだ陰影に圧倒されたのを、今でも覚えています」

バレエダンサーの熊川哲也さん(41)がフェスティバルホールの舞台上に初めて立った1992年5月の記憶である。東洋人として初めて英国ロイヤル・バレエ団に入団し、若きソリストとして注目を集めていた頃だった。それから20年、現在率いる「Kバレエカンパニー」の公演も合わせ、優に50回以上はここで踊った。

特に想い出深い舞台は？ と問うと、意外な答えが返ってきた。

「まだ20代半ばでした。ものすごく立派な造りの、それこそカラヤンのような超一流しか使えない応接室を、なぜか青二才の僕に楽屋として使わせてくれたんです。しかし、僕はその日の公演内容が自分の中で納得がいかず、物を投げたりして暴れてしまった。クローゼットの扉を壊して、劇場の方にずいぶん怒られました。僕じゃなく、プロデューサーが、ですけど(笑)」

あくなき「美」の追求と表現に生き

## 第6回 バレエダンサー 熊川哲也さん

## 新生を祝う 『第九』の舞い。

る舞踊家が、激しい情熱と衝動を秘めていることを物語るエピソード。だが、その若き天才も、今や成熟の域に達した。第一線で踊り続けながら、振付や演出、創作まで手掛け、東京・渋谷のオーチャードホールでは芸術監督も務める。バレエという総合芸術をプロデュースする役割を担っているのだ。その立場から、こう語る。

「よい劇場とは、シートの1席1席に価値が生まれるところです。もちろんソフト自体も大切ですが、それを輝かせるのはハードが備えている格式や

雰囲気、そしてポリシー。つまり、『この劇場でかかる公演なら間違いない』という信頼感です。関西では、中之島のフェスティバルホールが一番でしょうね」

そう信頼を寄せるホールがいよいよ生まれ変わる。熊川さんは4月20日、新ホールでのバレエ初公演を飾る。演出は「ペートーヴェン 第九」。大作曲家の最後にして最高の交響曲を、地球誕生から46億年をたどるドラマに仕立てた壮大なバレエ作品。もともとは2008年、東京の劇場のオーブニングのために創作したものを、4年ぶりに上演する。

「第九はシラーの詩(第4楽章の『歓喜に寄す』)に象徴されるように、何かが生まれる場にとても似合う。僕はこの曲に宇宙空間や生命の歴史を重ねて舞台化したわけですが、作品の描く



## 熊川哲也 Kバレエ カンパニー「ペートーヴェン 第九」

4月20日(土) 開演14:00～/18:00～  
出演:熊川哲也、Kバレエ カンパニー  
演出:熊川哲也振付「ペートーヴェン 第九」  
熊川哲也振付「シンブル・シンフォニー」(世界初演)  
リアム・スカーレット(英国ロイヤル・バレエ専任振付家)  
振付作品(世界初演)

料金:S 18,000円 A 15,000円  
※B 12,000円、C 9,000円、BOX 22,000円は  
完売致しました。  
お問い合わせ:フェスティバルホール ☎06-6231-2221

する自分のイメージが広がっているようだ。

「ステージは広くなり、舞台機構や設備も新しく洗練された。でも、フェスティバルホールに受け継がれるスピリチュアルな部分は失われていない。だから懐かしく感じたんです」

(おわり)



2013年4月 オープン!

**festival hall**

www.festivalhall.jp/

提供／株式会社 朝日ビルディング



こんな感じに、  
見えるんだ。

グルメ・ミュージック船 ひまわり 船上

中之島けい子

# 水の都のおけいはん

京阪電車から、大阪・中之島の水辺をめぐる旅へ。



グルメ・ミュージック船  
**ひまわり**  
優雅! 船上のホテルリゾート。

水上バス  
**アクアライナー**  
水鳥の目線で街めぐり。



**中之島フェスティバルタワー**  
空から島を眺めよう!



**中之島公園**  
水に浮かぶ都心の楽園!

おけいはん、  
京阪の  
人。

チャレンジおけいはん

検索

Facebook

@c\_okeihan

※詳しくは、ホームページまたは京阪電車主要駅でチラシをご覧ください。